

岡野隕鉄とは……



京都大学総合博物館にて撮影

明治37年（1904）4月7日6時35分ごろ、今福のお寺の裏山に1個の隕石が落下しました。この時の様子が『兵庫県災害誌』に次のように記されています。

「俄然空中に雷鳴のごとき凄然たる音響を聞くと同時に、一個の大球西方より飛び来り、同時にして巨砲を發したるが如き、響きありて震とうす……。」

（篠山市ホームページより、一部抜粋）

この隕石の落下を目撃していた今福の畑勝蔵さんたち3人は、落ちたと思われるお寺の裏山を探したところ、樫の木がさけているのを発見しました。その根元には直径約20センチ、深さ約80センチの穴があいており、黒いけむりがただよっていました。3人は、とがった部分を上に向けてつきささっていた「岡野号」を掘り出したのでした。（この落下については、京都府綾部町の方からも目撃者がおり、そこでも光と音、震動を感じたそうです。）

こうして、畑勝蔵さんに掘り出された隕石は、京都大学（当時の京都帝国大学理科大学探鉱学第三講座 初代教授）の比企忠教授（1866～1927）のもとにわたります。

比企忠教授の分析によると、この隕石は鉄の成分が94.85%、大変鉄の割合が高く、学術的には隕石の中でも「鉄隕石」あるいは「隕鉄」と呼ばれるものになります。そして、この隕石は比企教授によって「隕鐵 岡野號」（鐵は鉄の、號は号の旧字）と名付けられました。



『故比企忠博士追悼之記』水曜会誌第5巻6号より

★わたしたち4年生の学習、そしてこのパンフレットでは「岡野隕鉄」と呼んでいます。

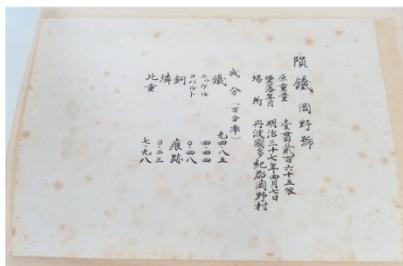
さて、この「隕鉄」とは、ふだんあまり耳にしません。それもそのはず、地球上で発見されている隕石のほとんどが、石の成分でできている「石質隕石」で、その割合が約94%、石と鉄がまざりあっている「石鉄隕石」が全体の1%、そして「岡野隕鉄」が含まれている「鉄隕石（＝隕鉄）」は全体の5%程度しかないのです。

さらに、比企教授によると、そのめずらしい隕鉄の中でも、この「岡野隕鉄」はニッケルの成分が少なく4.44%しかないのだそうです。（多くは7%以上あります。このニッケルの成分があるからこそ見られる、ウィドマンシュテテン構造と言われる隕鉄特有の美しいもようが見られないそうです。）

この世界的にもめずらしい「岡野隕鉄」は、今どこにあるのでしょうか。

2013年、京都大学総合博物館によって比企忠教授が収集していた貴重な鉱物標本の調査がすすめられ、その中に「岡野隕鉄」も存在しました。

そして2018年8月から、京都大学総合博物館に展示されています。ただし、この「岡野隕鉄」は京都を中心とした、いろいろな博物館に特別展示として貸し出されていることもあり、たくさんの人に見ていただいています。また、比企忠教授がかつてお互いの研究にと、イギリスやアメリカに「岡野隕鉄」の断片を送ったそうですが、今もロンドン自然史博物館に254gの「岡野隕鉄」の一部が保管されています。



京都大学総合博物館にて撮影

<学習を終えて>

- ・「岡野隕鉄」のことだけでなく、宇宙のことや昔のこともわかって、おもしろかったです。
- ・岡野に、今まで聞いたことがないような、めずらしい歴史があることにおどろきました。楽しかったです。
- ・世界に広まってほしいです。なぜなら、地球にあるものじゃないからです。
- ・岡野隕鉄について勉強して、世界の中でもめずらしい存在だったので、びっくりしました。
- ・100年以上前に見つかったものが、今も博物館で引っ張りだこなんで、びっくりしました。お父さんに「岡野隕鉄、博物館に見に行くか?」と言われました。もし行けたら、行ってみたいです。
- ・すごく貴重だと思いました。ニッケルの成分のこととか、そういうことでめずらしいなんて、勉強になりました。

そして「岡野隕鉄」を キャラクターにしました!

「岡野隕鉄」について学習を進めた4年生と、「もっとたくさんの人に、『岡野隕鉄』について知ってほしい!」「むずかしいけれど、小さい子にもわかってほしい!」という願いから、岡野小学校のキャラクターとして、「岡野隕鉄」をイメージしたキャラクターづくりを行いました。

みんなから出た様々な案から、「隕鉄だとわかること」「おぼえやすく、まねしやすいこと」「篠山らしさがあること」という条件にあう、3つの候補にしばり、全校生や将来岡野小学校に入学してくれる幼稚園やこども園のお友達に投票してもらいました。

そしてその結果、このキャラクターに決定しました。これから、このキャラクターを活かして、「岡野隕鉄」のことを広く知ってもらいたい、と考えています。



発行 2018年度 篠山市立岡野小学校 4年生
岡野小コミュニティ・スクール
協力 京都大学総合博物館
発行日 2019年3月

すごいで! 岡野隕鉄★

～宇宙からのおくりもの～



篠山市立岡野小学校 4年生

2019年3月

本当に!!

すごいぞ岡野隕鉄!

Qなぜ岡野隕鉄は有名?

すごいぞ岡野隕鉄!

重さ 4.74kg



名称 隕鉄「岡野号」
所在 篠山市今福

「岡野隕鉄」は、1904年明治37年4月7日午前6時35分に篠山市今福山林に、落下しました。隕鉄の大きさは、長径約18センチ、短径11.1センチ重量4.74キログラムだそうです。(レプリカが岡野小学校と畑さん家に保管されています)

「岡野隕鉄」の価値が高いと考えられる理由はこの2つです。
1つ目は、岡野隕鉄が落下した日時や場所は、はっきりしていることです。
いつ、どこに落ちてくるか、わからないような隕石の中で「岡野隕鉄」のように日時と場所は、はっきりわかっている隕石はめずらしいので、

2つ目は、成分にあります。岡野隕鉄は、隕鉄の中に入られる鉄の成分が非常に高いのです。そして、隕石と呼ばれる中で鉄の塊である隕鉄は、全体の5パーセントしかありません。その隕鉄の中でもニッケルが普通は7パーセント以上含まれるものが多いのですが、この岡野隕鉄はニッケルの成分が非常に少なく、さらに貴重な存在と言えます。

「岡野隕鉄」について学習発表会で発表しました!

岡野校区に落ちた宇宙からのおくりもの、「岡野隕鉄」について、全校生や保護者、地域のみなさんの前で発表しました。



<子どもたちの感想>

「岡野隕鉄」のことを学習発表会で発表したことが心に残っています。セリフを覚えるのが大変だったけれど、学者さんになったつもりでがんばりました。

「岡野隕鉄」のレプリカをさわってみましたよ

岡野小学校の校区に昔、隕石が落ちたことを知った子どもたち。すると、「お母さんが、岡野小学校に隕石が置いてあるって聞いたことがあるよ」という子どもたちからの声をヒントに、校長室にあった「岡野隕鉄」のレプリカを発見!

校長先生にお願いして、教室で一人ずつレプリカを持ってみました。

このレプリカ、形や色もそうですが、重さも本物とそっくり同じです。子どもたちは見た目からは想像もつかないほどの重さにびっくりしていました。さすが、純度の高い鉄だけあって、ずっしりとした重みを感じていました。

<子どもたちの感想>

- ・パッと見たら軽そうで、でもみ～んな「重!!」って言ってました。本当かな? と思いながら隕鉄のレプリカを持ってみると、とっても重かったです。
- ・「なんだかふつうの石とちがって重たい!!」と思いました。鉄って重たいって知っていたけれど、あらためて持ってみて、重たいことがわかりました。
- ・隕鉄は重いし、大きいし、大砲の弾みたいな黒さでびっくりしました。
- ・すごく重く、あとで手をにおってみると、鉄くさかったです。ドキドキしながら持って、一人で持つと、持ち上げられないほど重かったです。レプリカでも、すごく重いので本物の重さもこのくらいなのかな、と気になりました。
- ・岡野隕鉄を勉強して、隕鉄のレプリカでもすごく重かった。本当にツルツル、ピカピカなのか、本物にさわってみたいです。



第118回篠山市議会にて、「ふるさと教育に『岡野隕鉄』のたいなる活用を!」と題された質疑が行われました。

学習発表会の発表内容をご存知だった議員さんによる質問だったので、子どもたちが発表した劇のセリフが数多く出てきて、市議会の動画を視聴した子どもたちからは、拍手が起きる場面もありました。

「岡野隕鉄」落下場所に GO!

「岡野隕鉄」の発見者、畑勝蔵さんのお孫さんにあたる、畑利清さんにお話をうかがいに行きました。当時の様子を聞かせていただいた後、実際の落下場所にも案内していただきました。



落下場所は急な坂道をのぼったところにあり、周りは竹や木がしげっていました。(当日は畑さんにきれいに整備していただいていた。)

畑さんに用意していただいていた「岡野隕鉄」のレプリカを使って、メジャーで穴の直径や深さを記録と比べながら、落下当時の様子をイメージした子どもたちでした。

<子どもたちの感想>

- ・畑利清さんから、隕鉄が落ちたところを見せてもらいました。急な山だったので「こんなところに落ちたなんて!」と思いました。けっこう山の上であって、上がるのもやっとなかったです。落ちたところは、もうほとんどふさがっていました。
- ・坂がすごく急で、みんな「こわい!」と言って登っていました。おるときは、すべりそうでこわかったです。こんなところに落ちてたんだな～、と思いました。周りは山だし、けむりが見えなかったら、見つかってなかったかもしれないな～、と思いました。
- ・歩いてみたら意外に長かったです。階段をつけて、看板をつけて、観光名所になったらいいのにな、と思いました。

